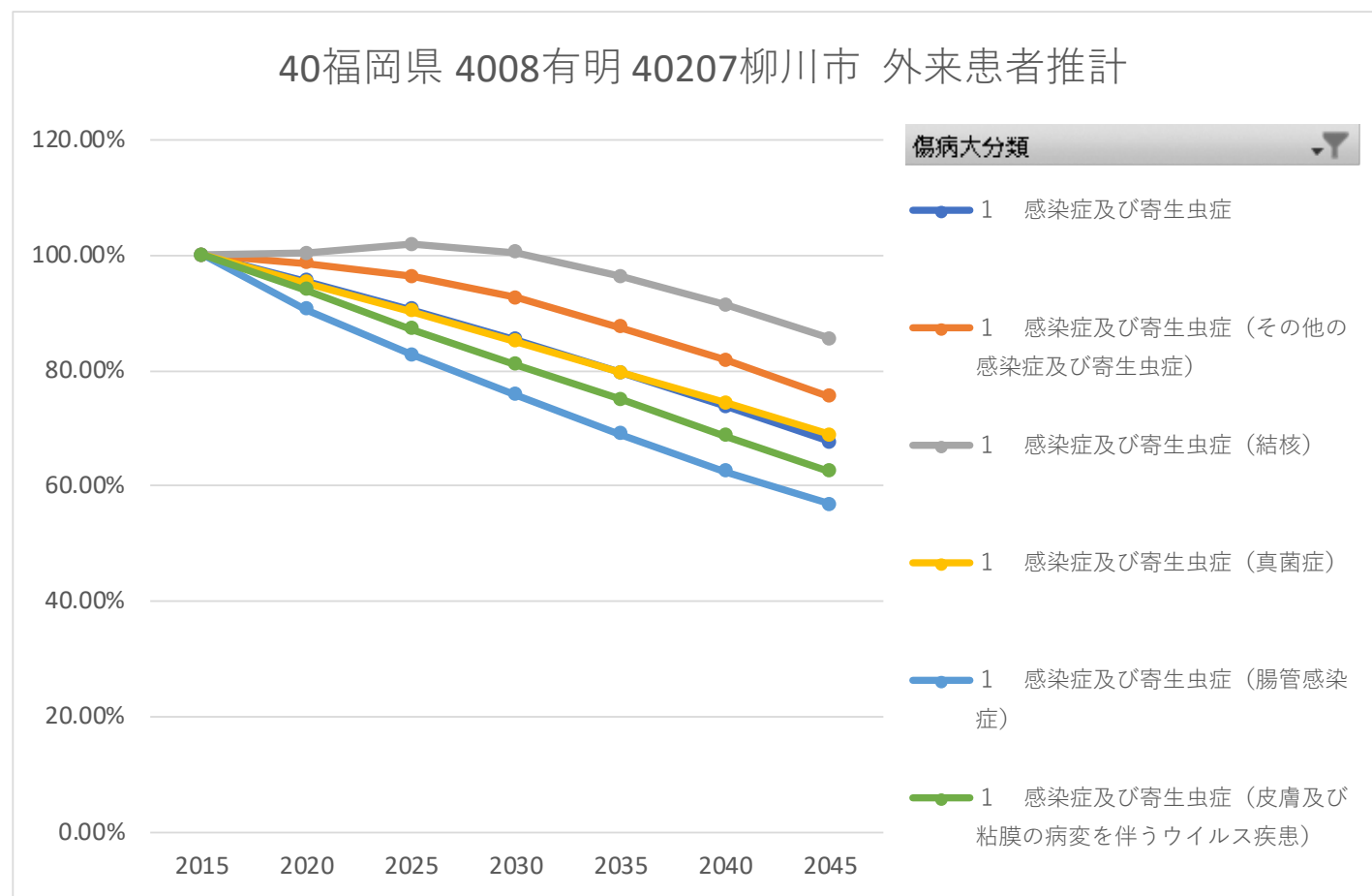


別添3

# 傷病大分類別の 将来外来患者推計について

4008有明構想区域 40207柳川市

# 1 感染症及び寄生虫症

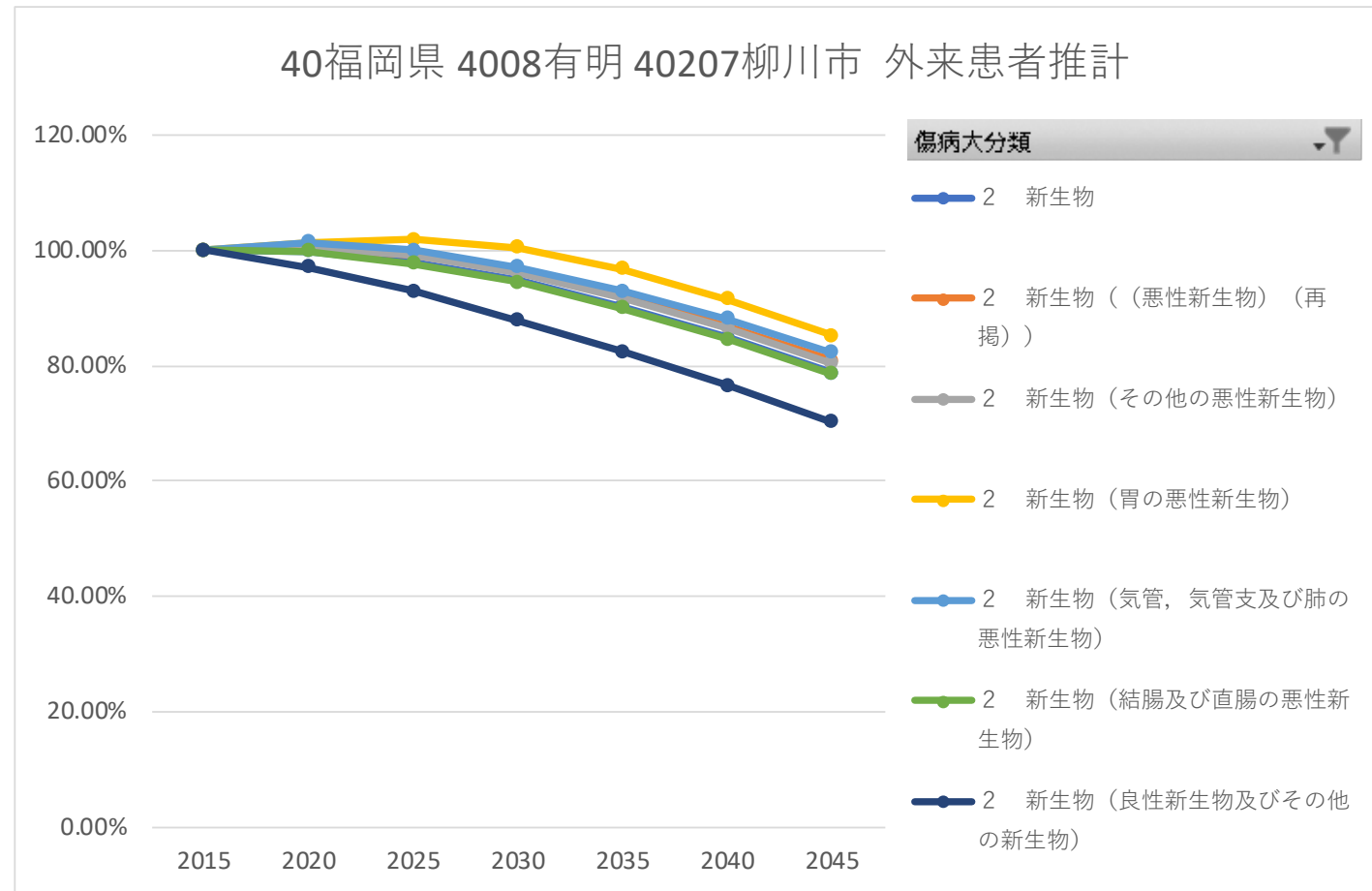


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生指標. 2015;62(8):1-5.

## 2 新生物＜腫瘍＞

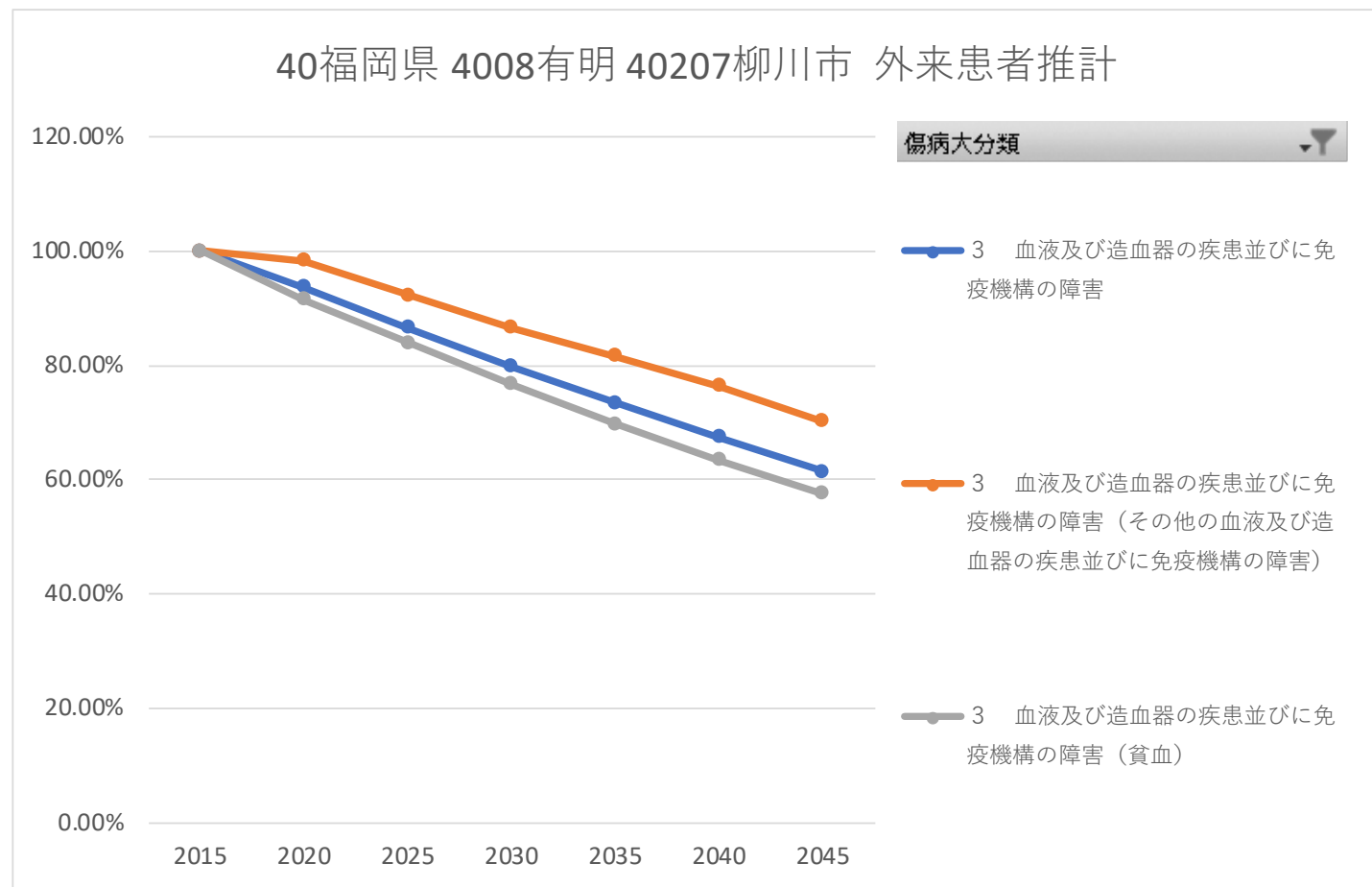


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生指標. 2015;62(8):1-5.

### 3 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害

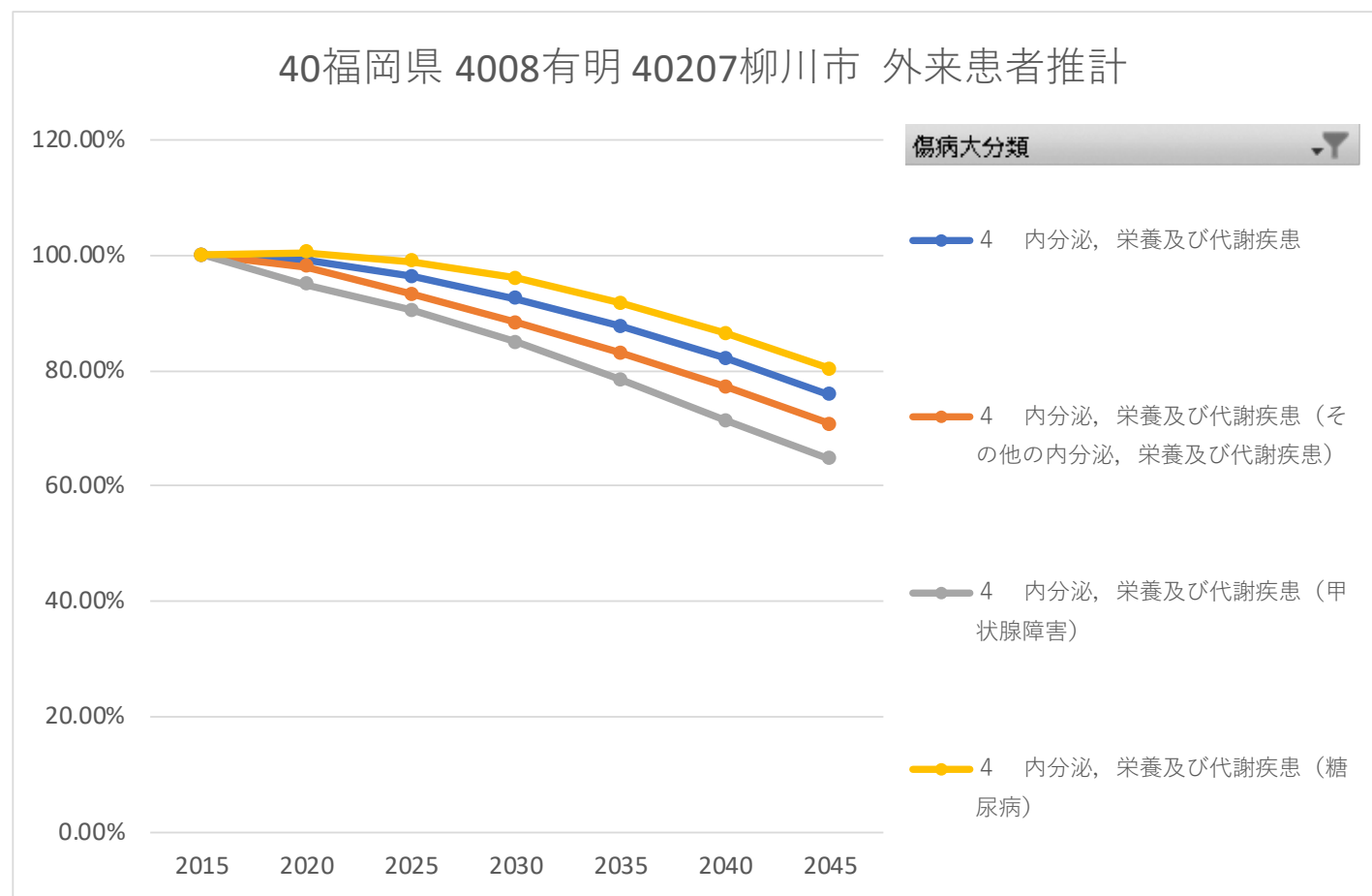


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生指標. 2015;62(8):1-5.

# 4 内分泌， 栄養及び代謝疾患

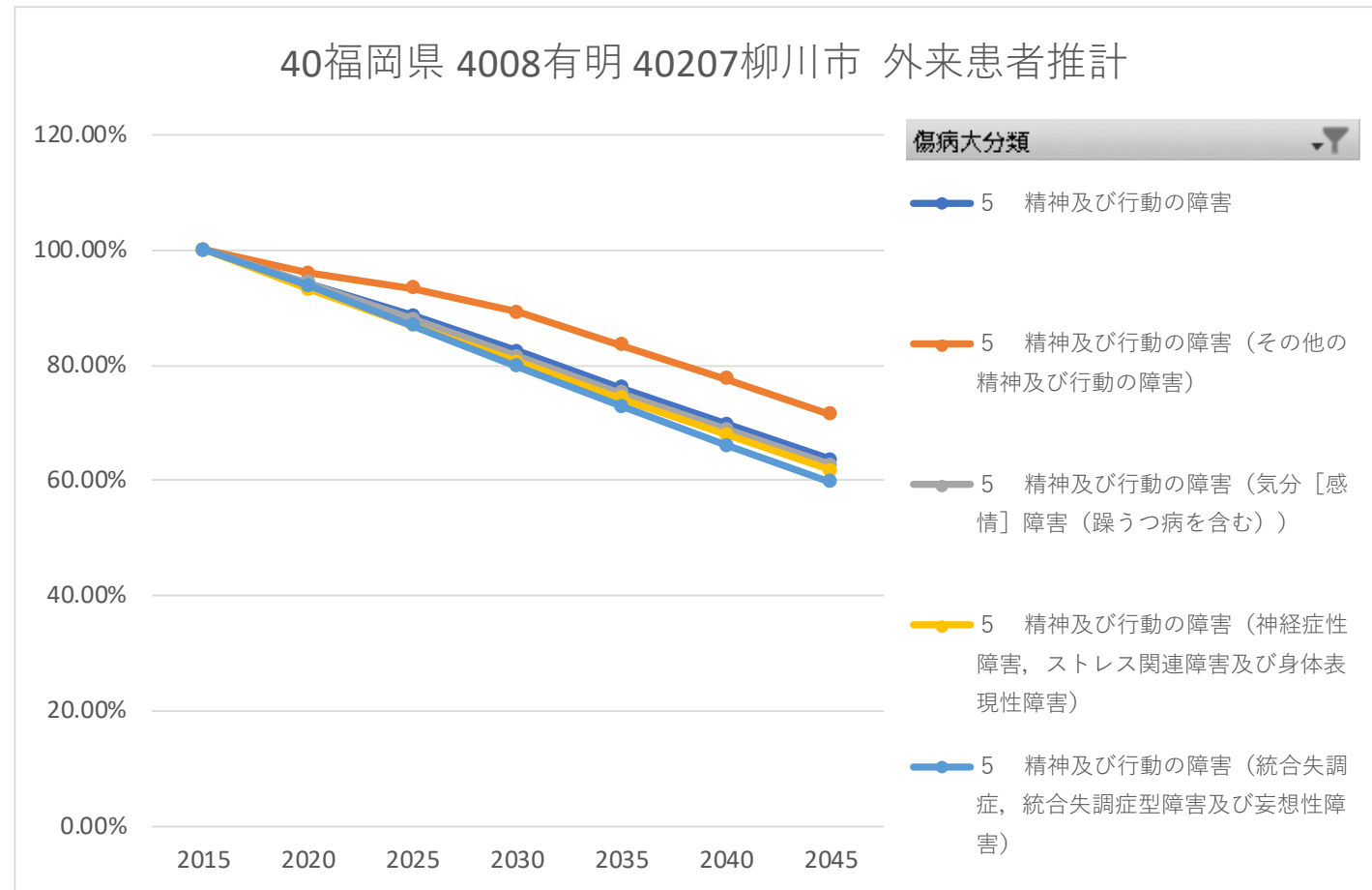


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生の指標. 2015;62(8):1-5.

# 5 精神及び行動の障害

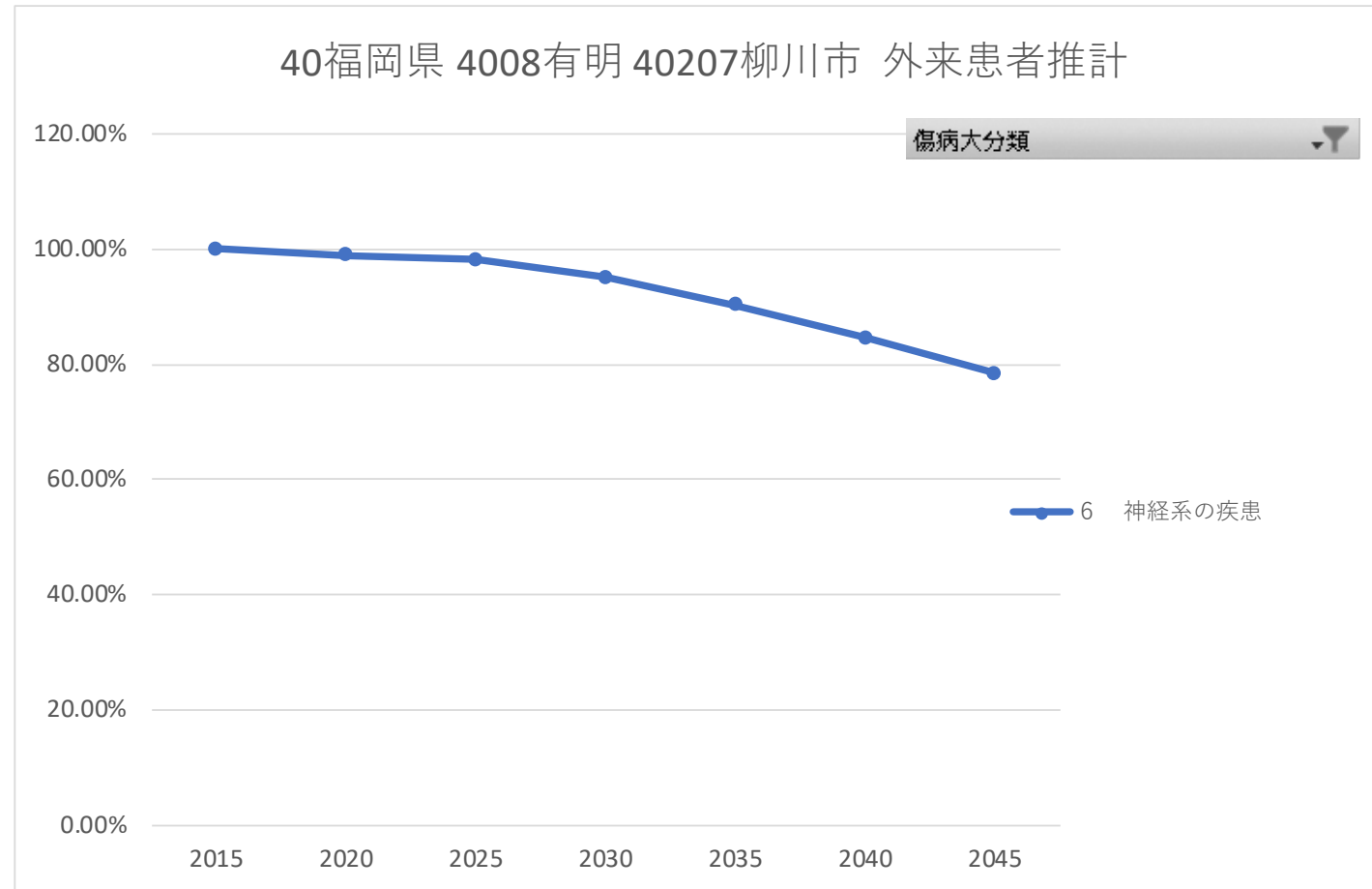


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生指標. 2015;62(8):1-5.

## 6 神経系の疾患

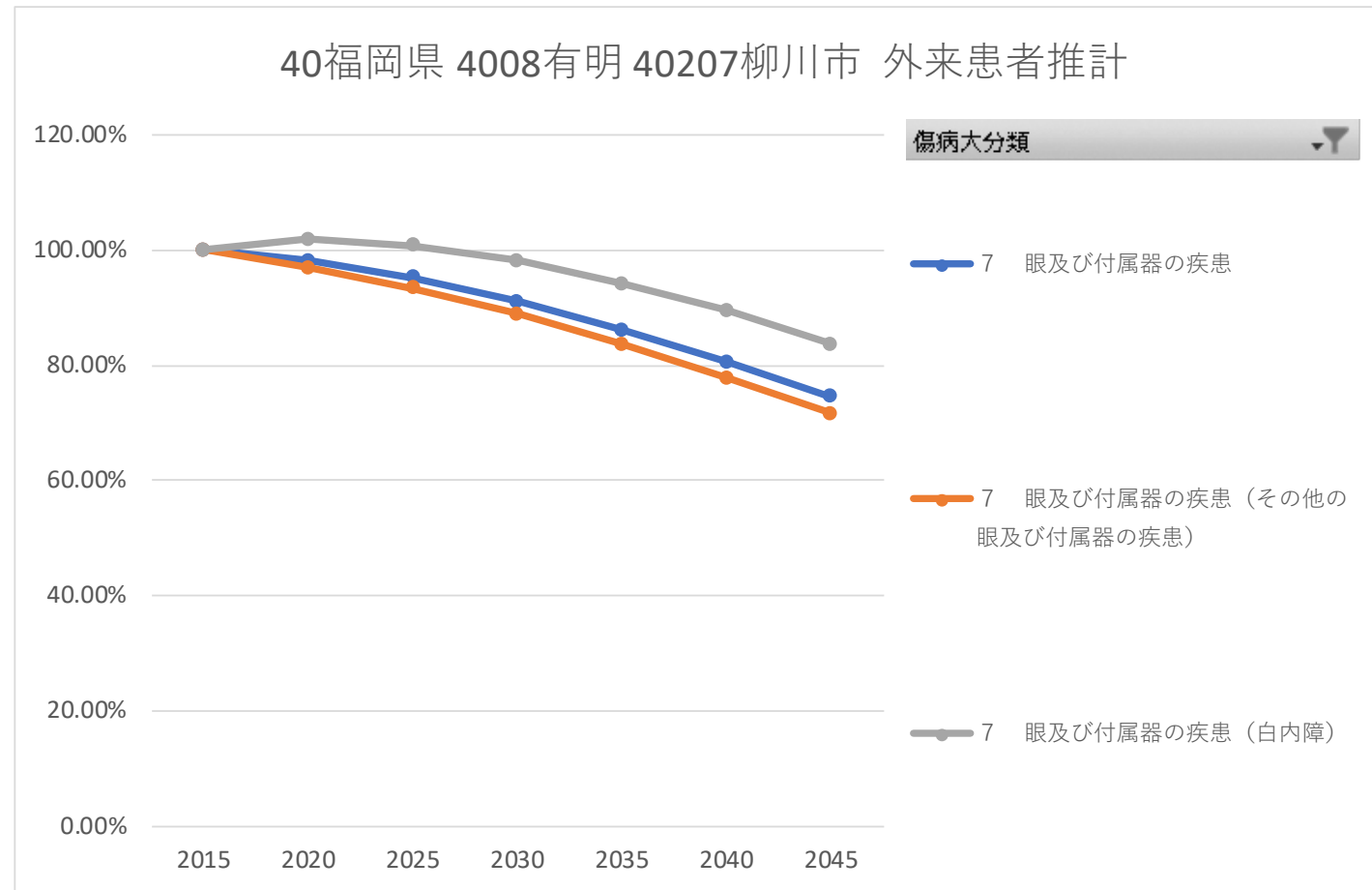


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生指標. 2015;62(8):1-5.

# 7 眼及び付属器の疾患



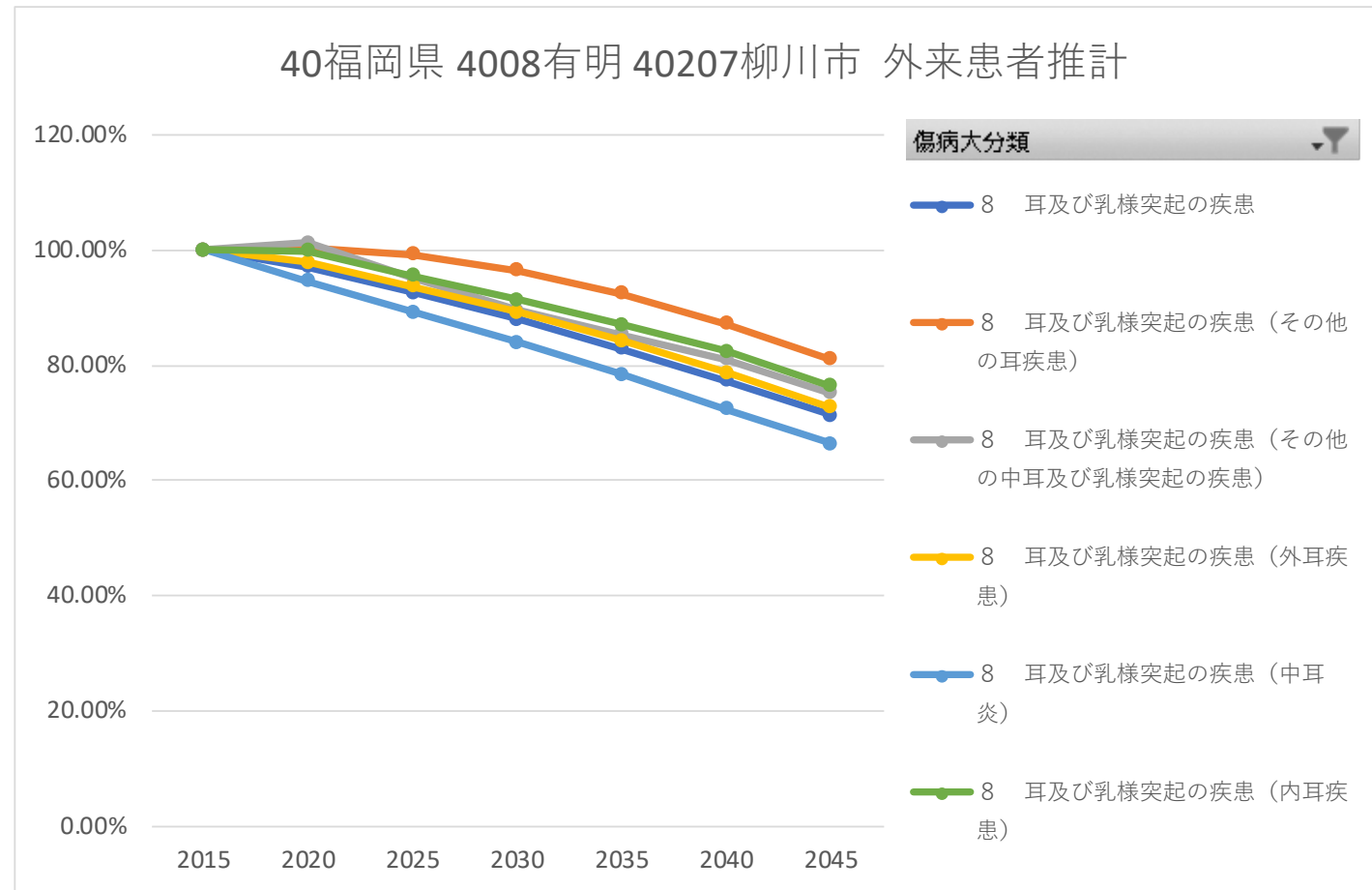
出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生の指標. 2015;62(8):1-5.



# 8 耳及び乳様突起の疾患

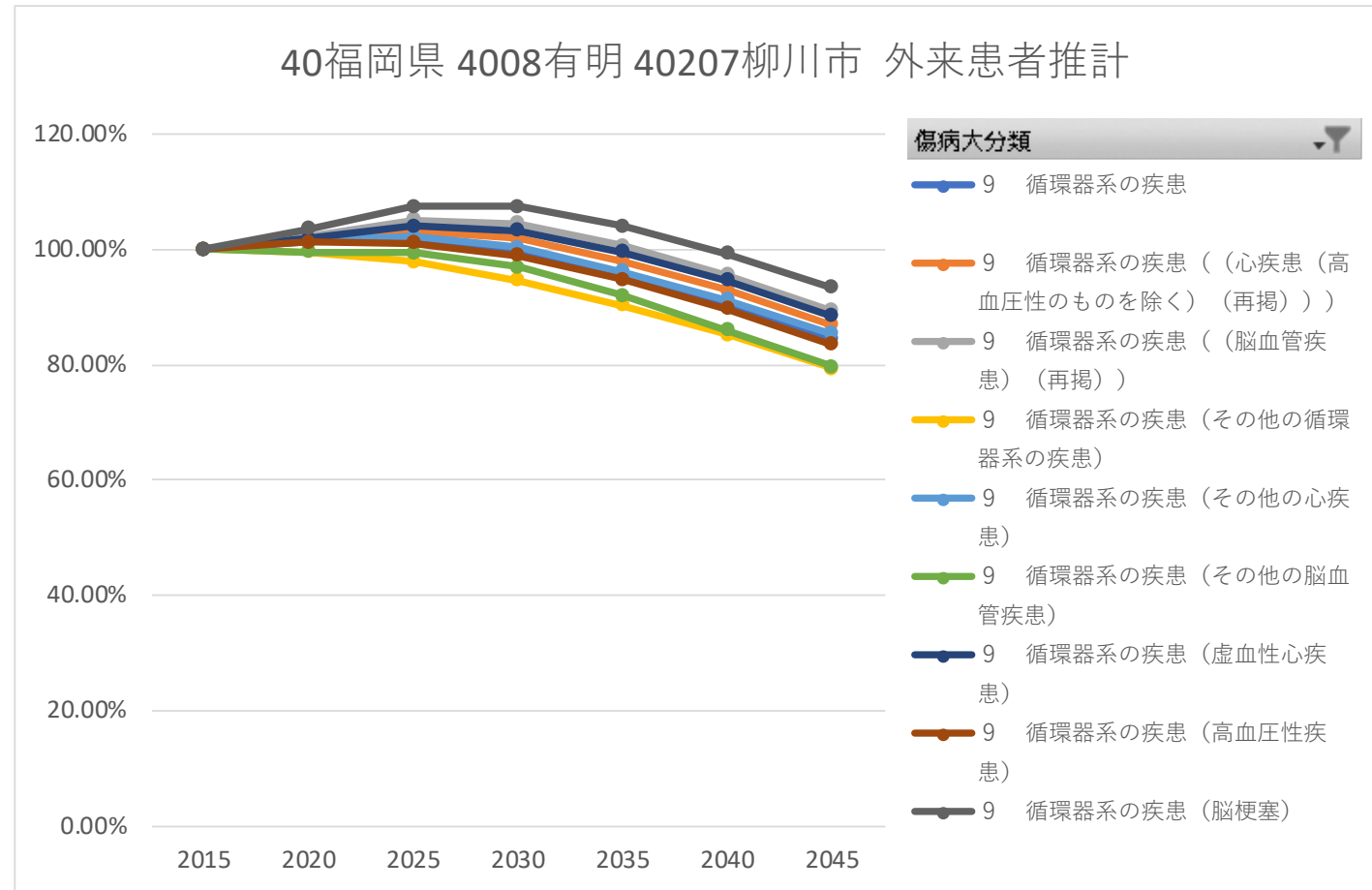


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生指標. 2015;62(8):1-5.

# 9 循環器系の疾患

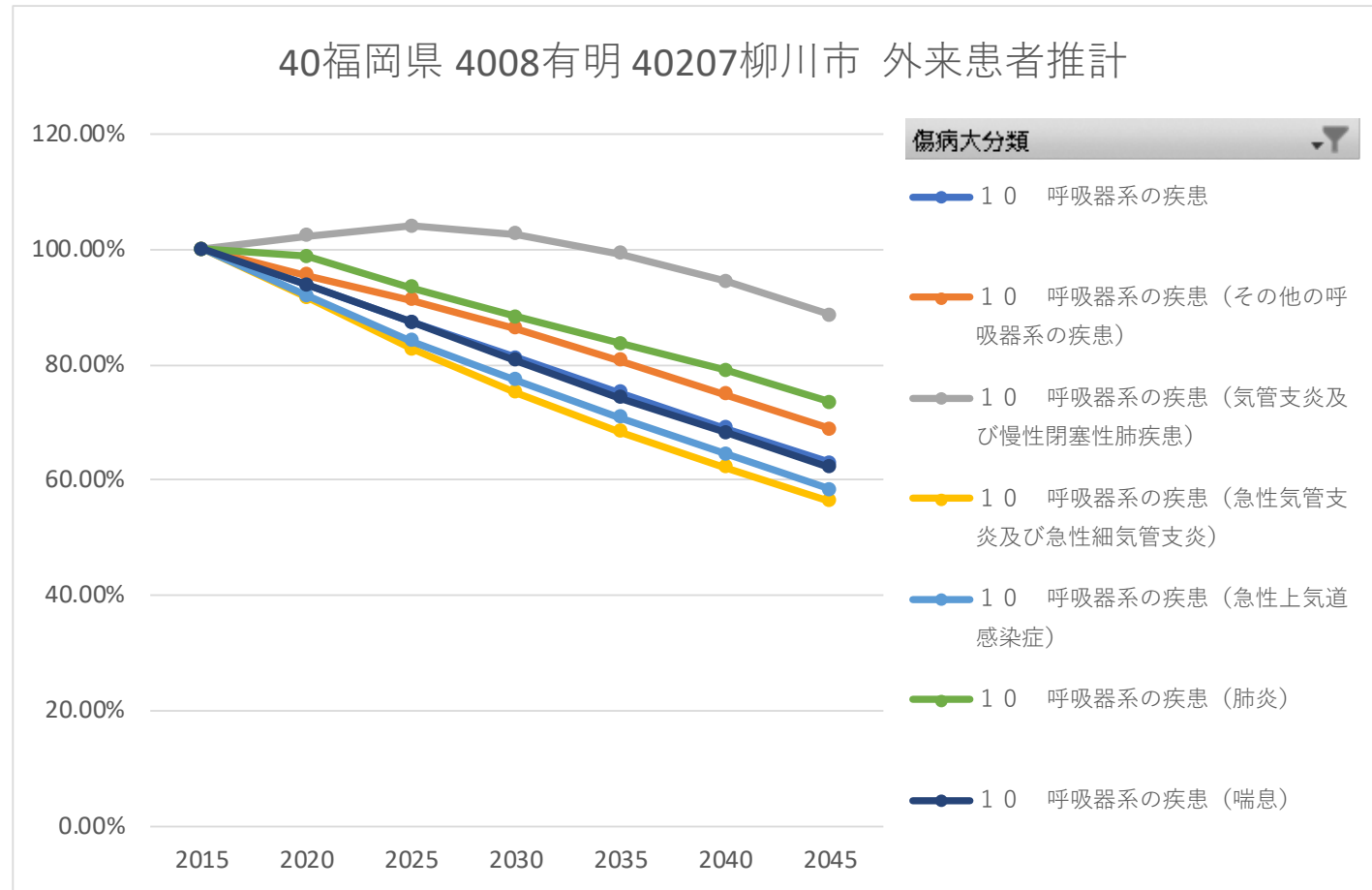


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生指標. 2015;62(8):1-5.

# 10 呼吸器系の疾患

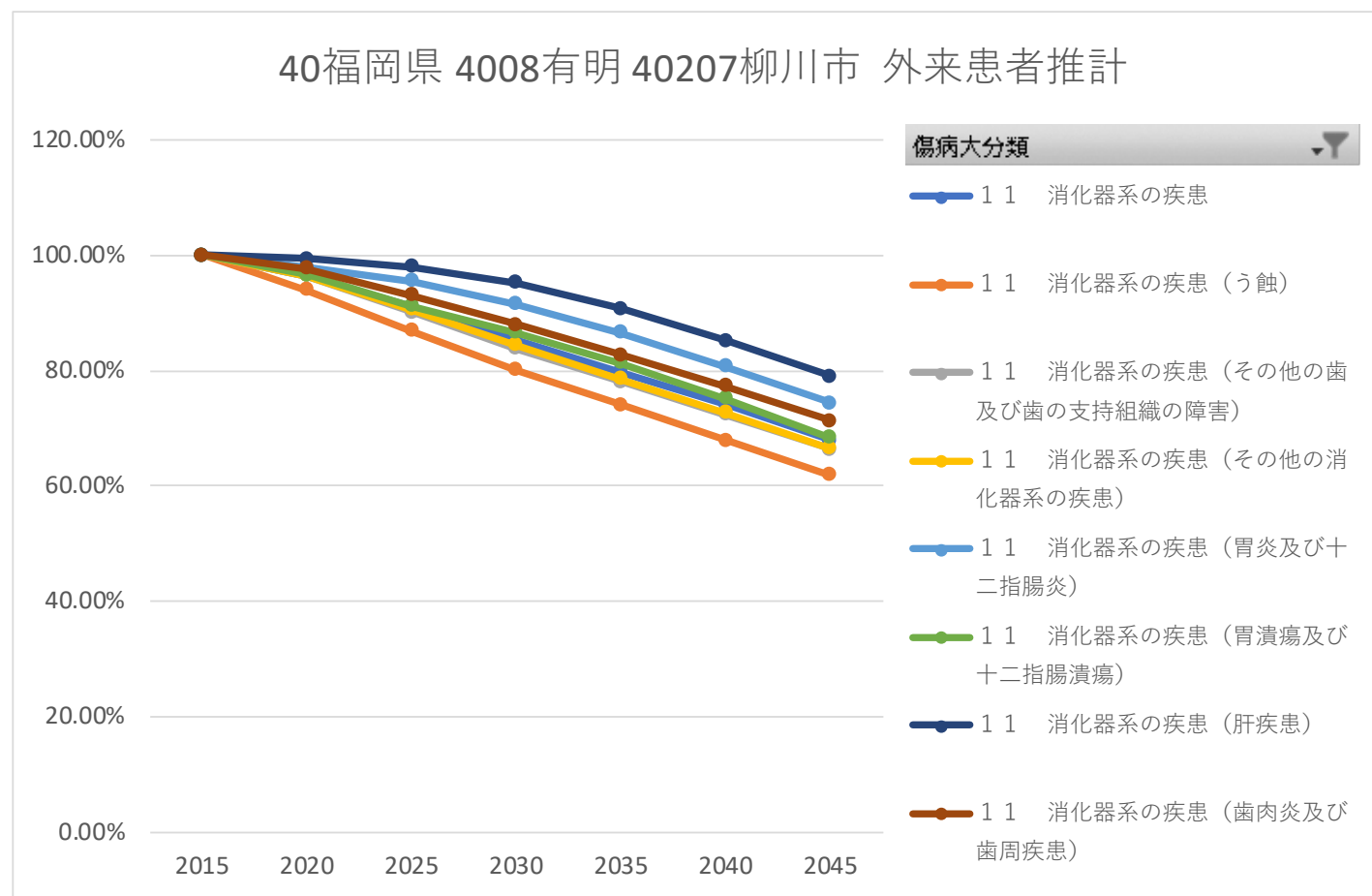


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生指標. 2015;62(8):1-5.

# 1 1 消化器系の疾患

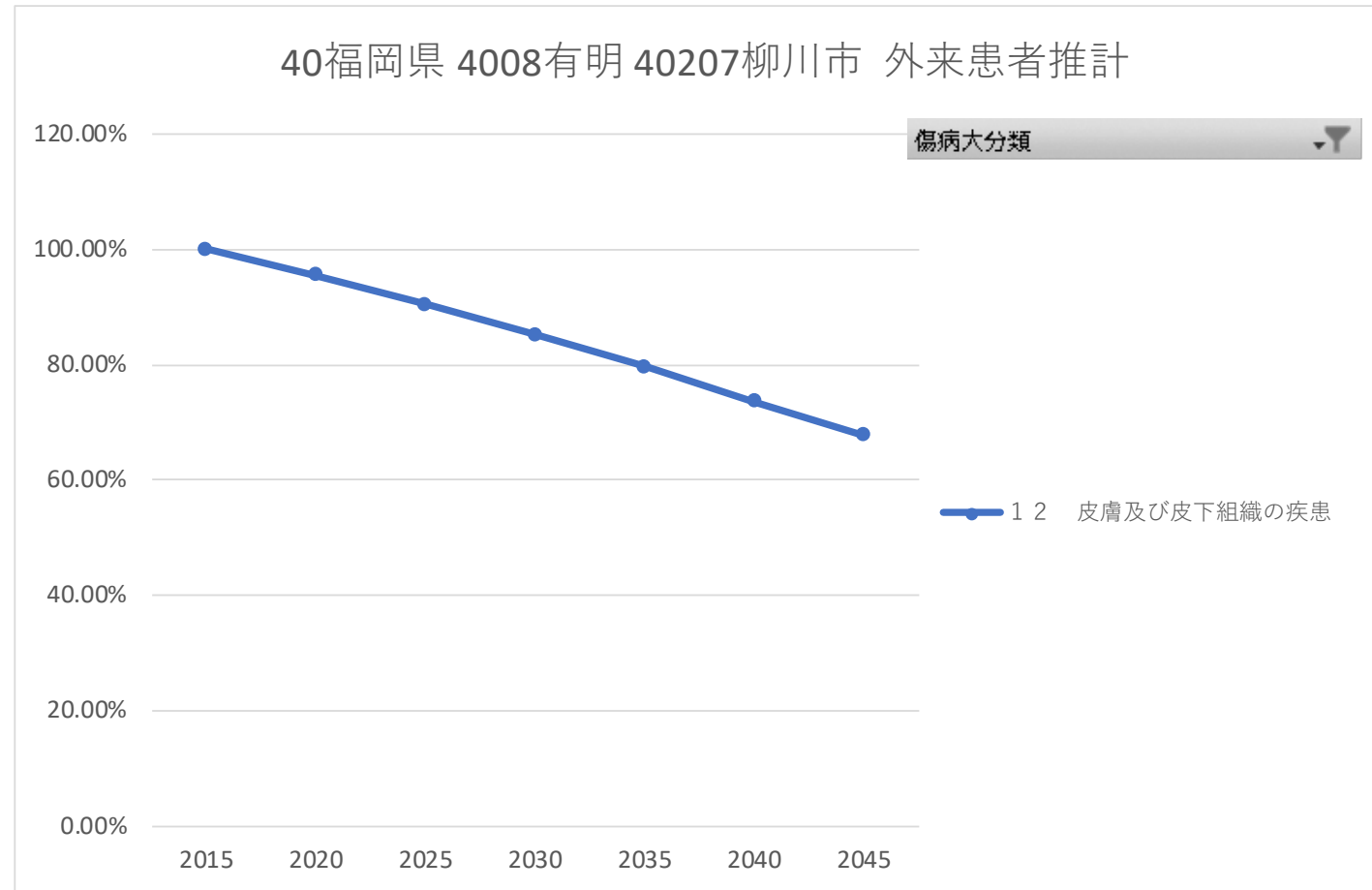


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生の指標. 2015;62(8):1-5.

# 1 2 皮膚及び皮下組織の疾患

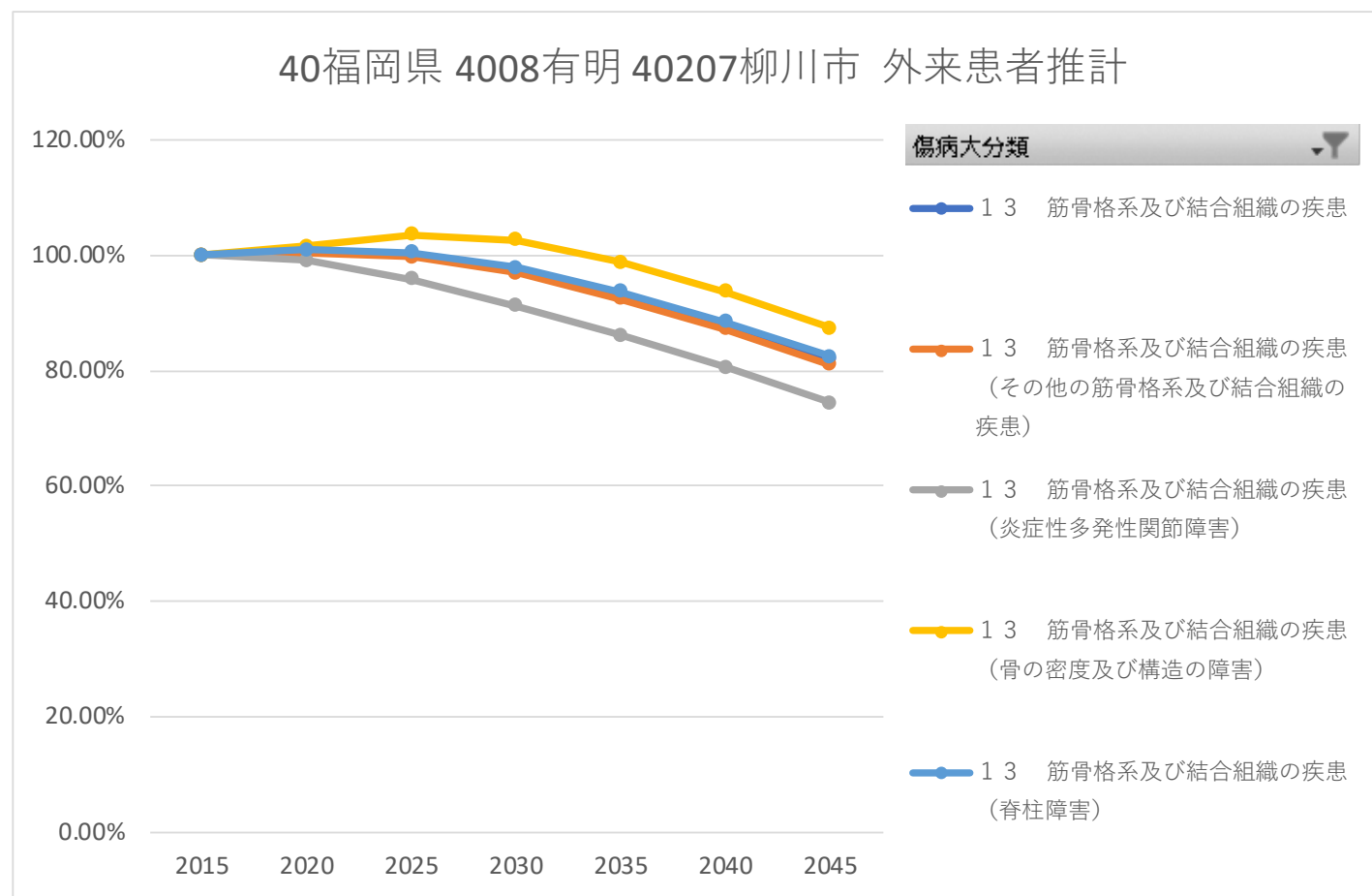


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生指標. 2015;62(8):1-5.

# 1 3 筋骨格系及び結合組織の疾患

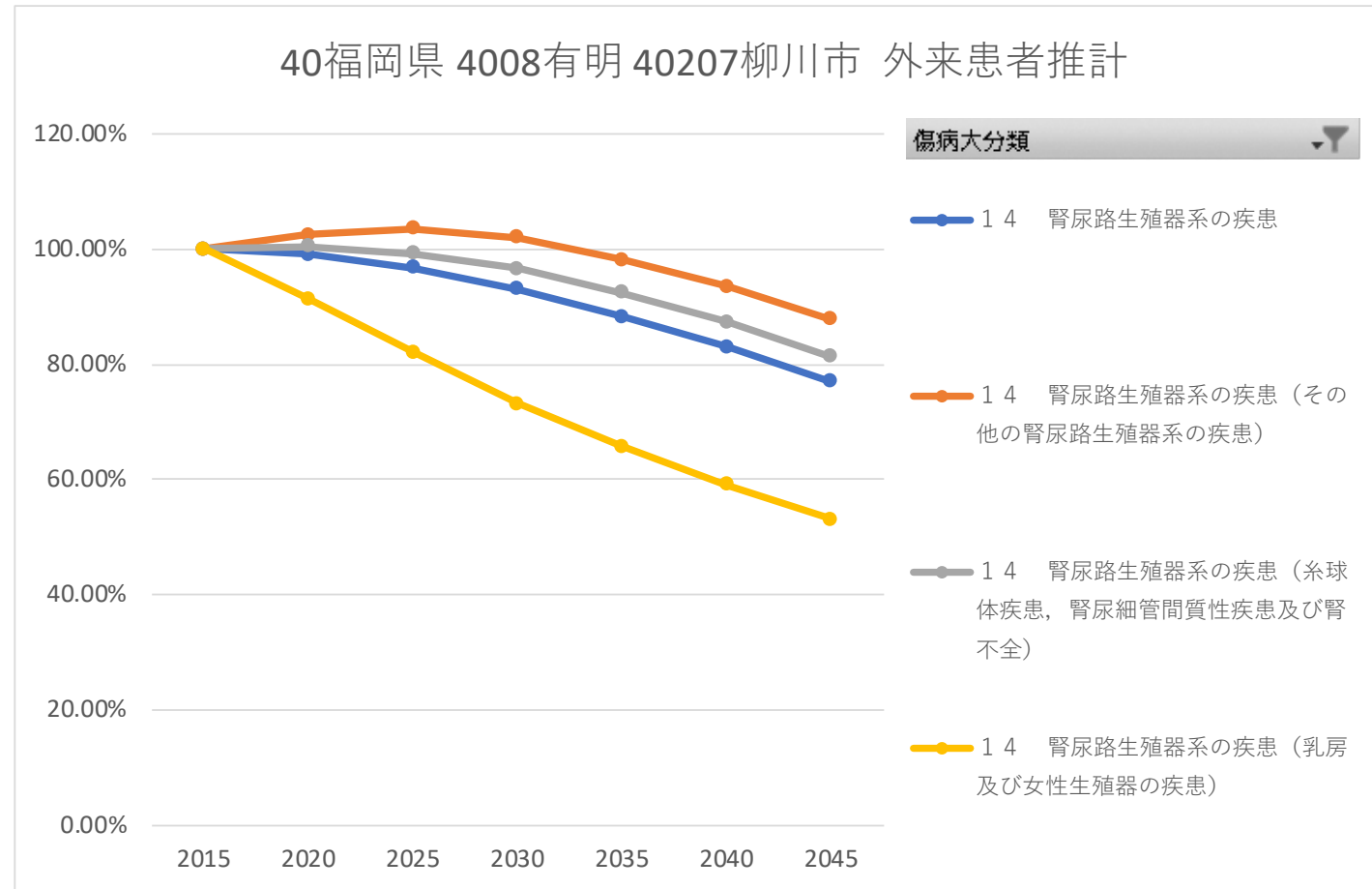


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生の指標. 2015;62(8):1-5.

# 1 4 腎尿路生殖器系の疾患

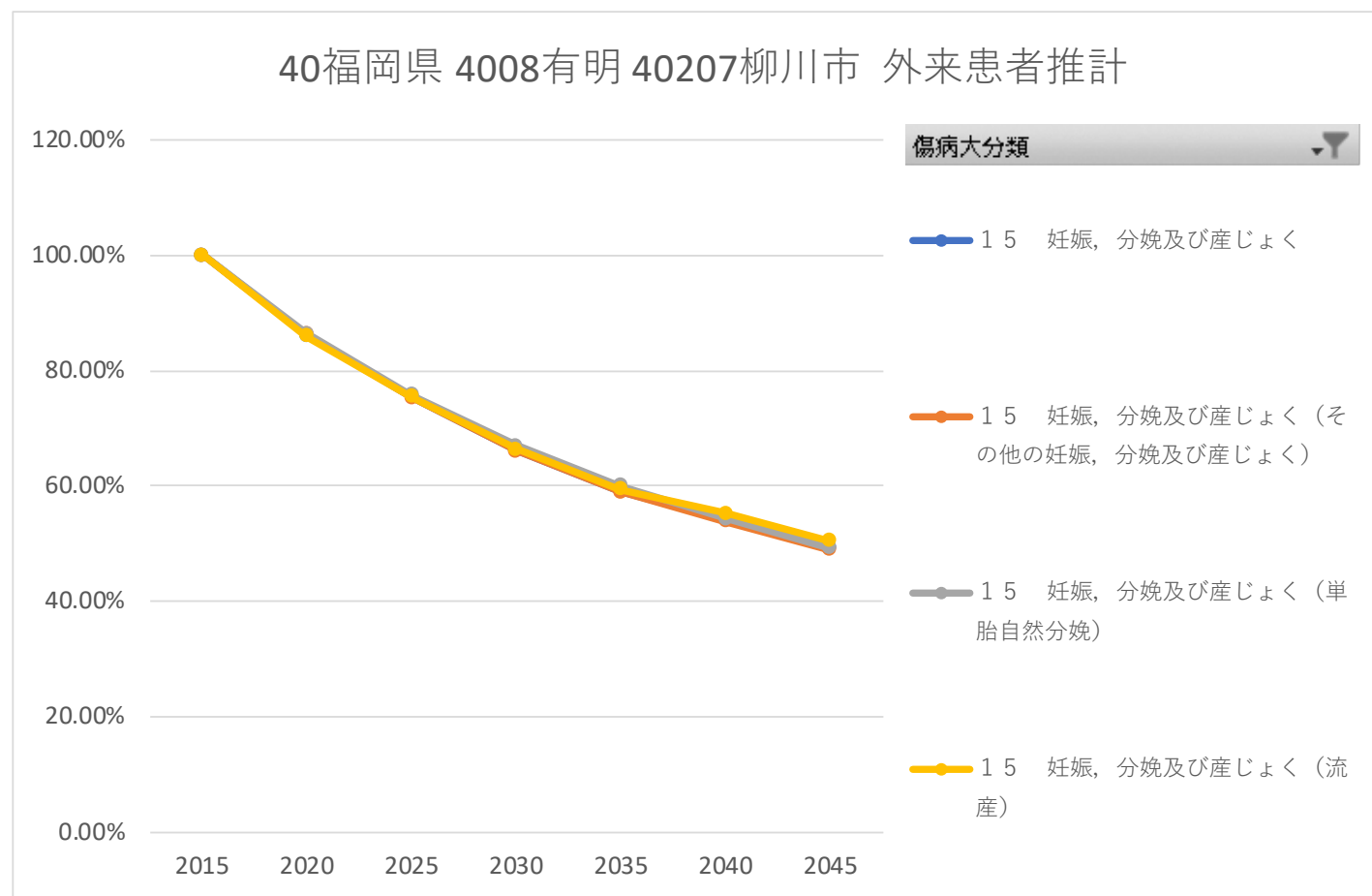


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生指標. 2015;62(8):1-5.

# 1 5 妊娠, 分娩及び産じょく



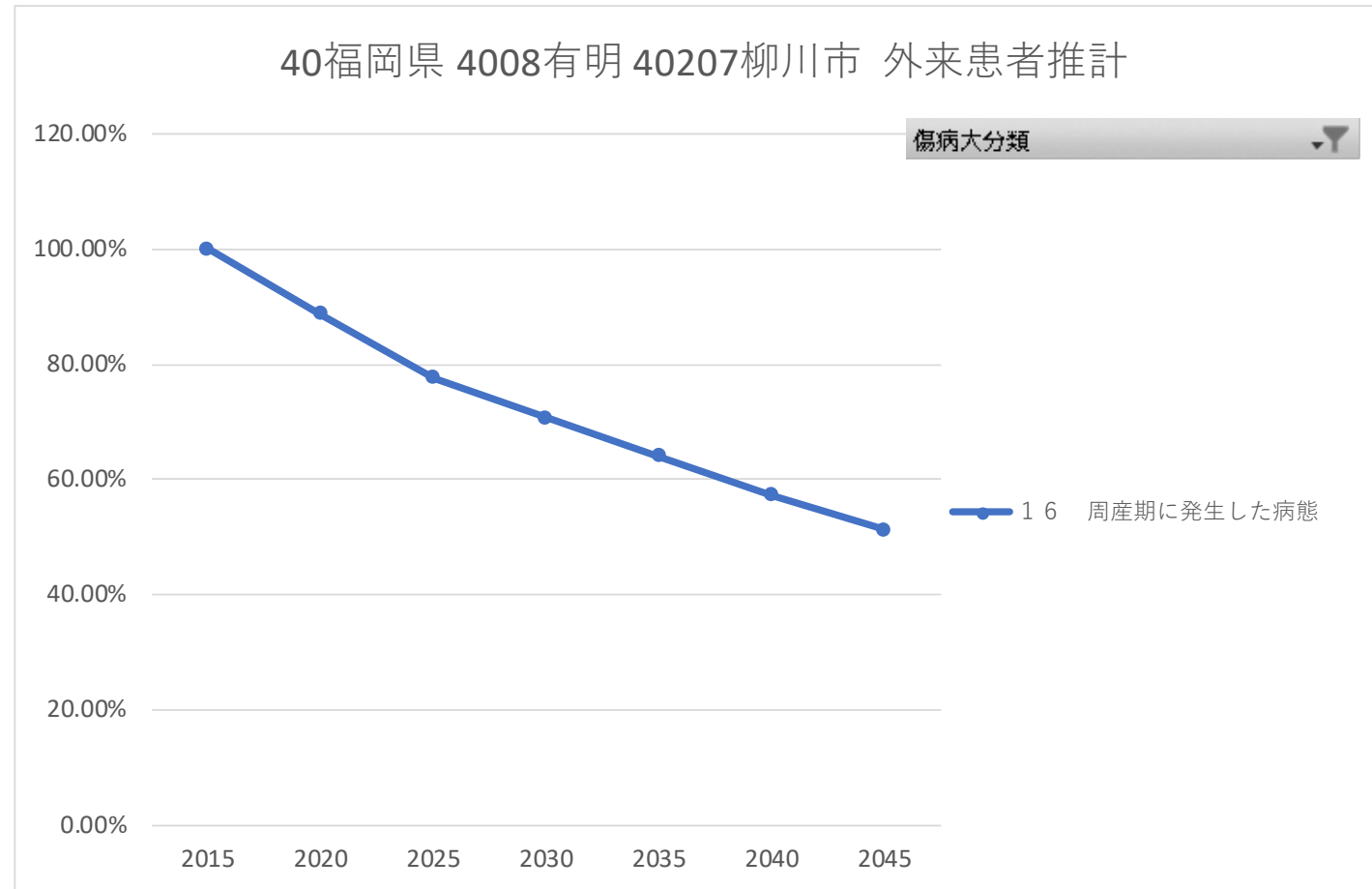
出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生の指標. 2015;62(8):1-5.



# 1 6 周産期に発生した病態

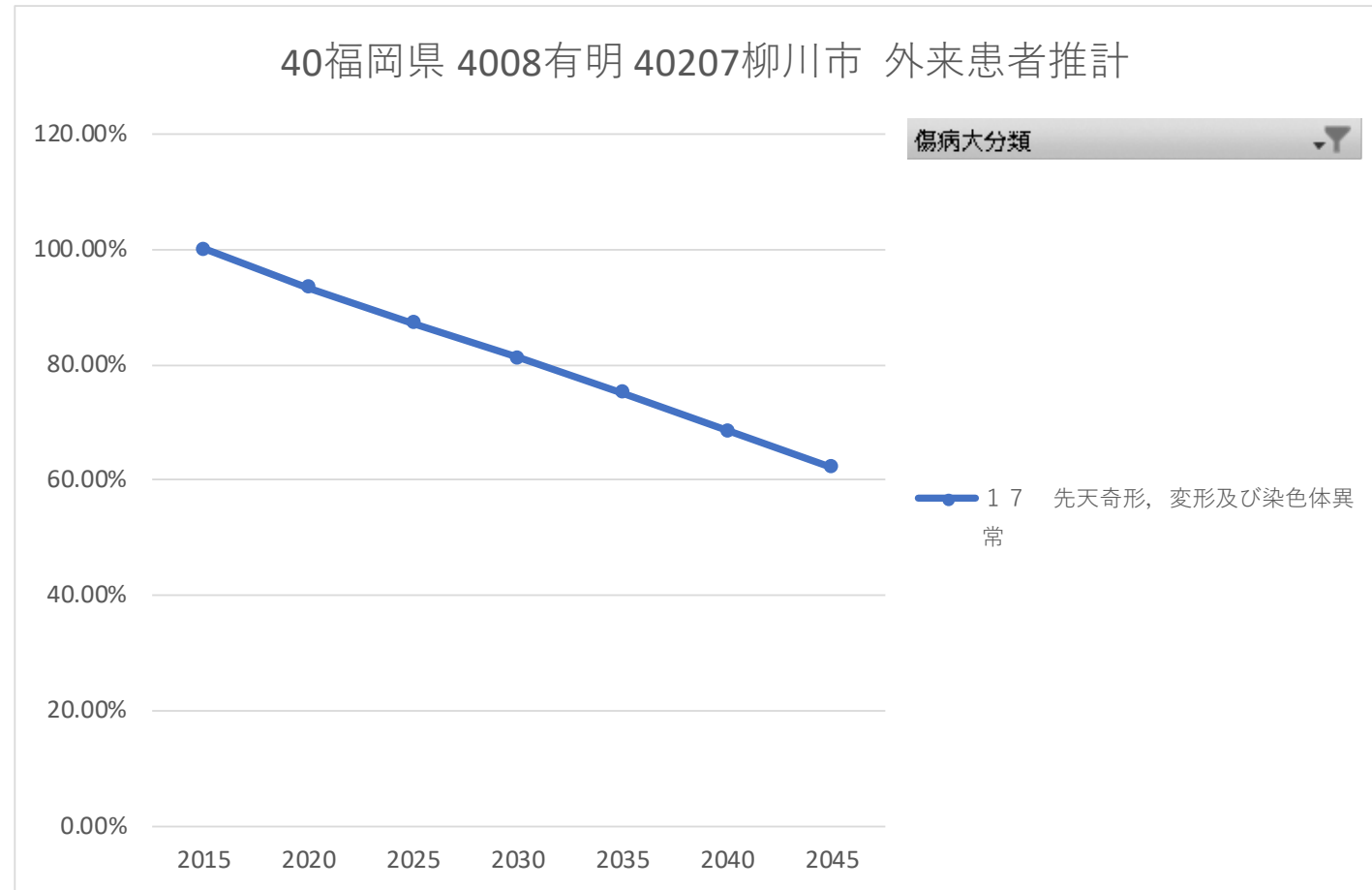


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生指標. 2015;62(8):1-5.

# 1 7 先天奇形，変形及び染色体異常

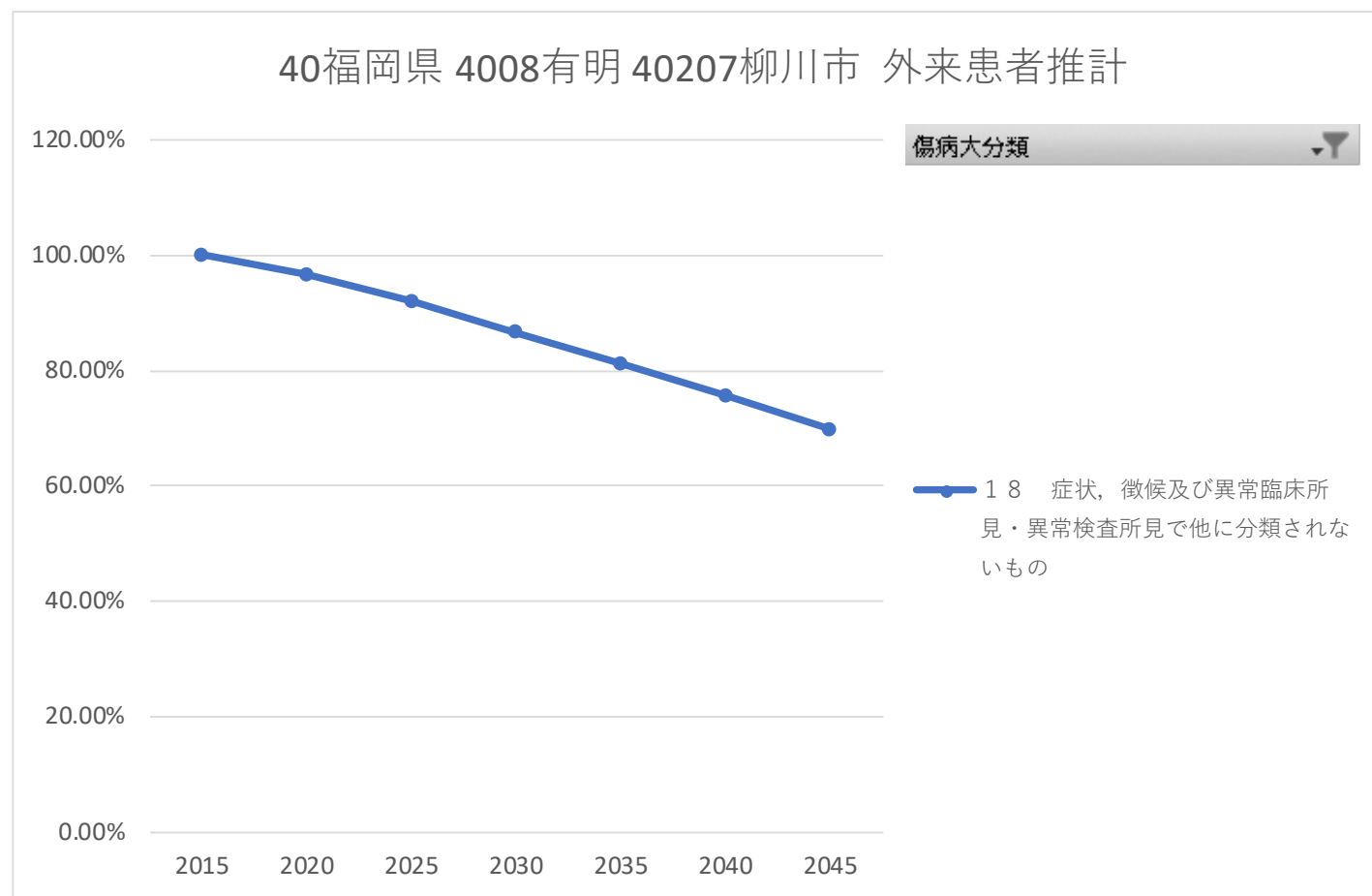


出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生指標. 2015;62(8):1-5.

# 18 症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの



出典：平成25年度厚生労働科学研究補助金（厚生労働科学特別研究事業）今後の医療需要を踏まえた医療機能の分化・連携を促すための地域医療ビジョン策定に向けて把握すべきデータやその活用方法に関する研究（H25-特別-指定-007）（研究代表者：松田晋哉）

※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉. 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用. 厚生指標. 2015;62(8):1-5.

郷音



※本データは上記研究で開発された地域別人口変化分析ツール（AJAPA）を、国立社会保障・人口問題研究所の平成30年推計等を用いて時点更新し、作成したものです。

推計方法等は右記の論文に掲載しています：村松圭司, 酒井誉, 久保達彦, 藤野善久, 松田晋哉, 地域別将来人口・患者数分析ツールの開発および医療計画策定への応用, 厚生学の指標, 2015;62(8):1-5.